

授業科目名	開講年次	開講期間	単位数	授業形態																																							
がん看護学特論Ⅲ(がん看護援助論)	1	前期	2	講義 30時間																																							
担当教員	岡本明美、千葉恵子、宮津珠恵、黒田宏美、伊藤淳子																																										
授業概要	がん診断期、治療期、再発期、終末期における患者とその家族の体験を理解し、高度な倫理観及び包括的アセスメントに基づいた看護介入について探究する。																																										
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 診断期・治療期・再発期・終末期においてがん患者が抱えるトータルペインについて説明できる。 2. がん治療を受ける患者とその家族の特徴と包括的アセスメント、看護実践について説明できる。 3. がんサバイバーの特徴とアセスメント、支援について説明できる。 4. がん看護における倫理的課題について理解し、がん患者への看護実践について検討できる。 5. がん看護専門看護師の役割および機能について理解し、自己の課題を明確にできる。 																																										
履修条件	特になし																																										
授業計画	<table border="1"> <thead> <tr> <th>回</th> <th>内容</th> <th>担当教員</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1-2</td> <td>がん患者が抱えるトータルペインと包括的アセスメント</td> <td>岡本</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>がん患者の家族の特徴とアセスメント、看護介入</td> <td>岡本</td> </tr> <tr> <td>4-5</td> <td>がん手術療法を受ける患者の特徴と術前、術後のアセスメント、看護介入、評価</td> <td>宮津</td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>がん放射線療法を受ける患者の特徴と治療前・中・後のアセスメント、看護介入、評価</td> <td>岡本</td> </tr> <tr> <td>7</td> <td>がん放射線療法を受ける患者の特徴と有害事象へのセルフケア支援および評価</td> <td>岡本</td> </tr> <tr> <td>8</td> <td>がん薬物療法を受ける患者の特徴と治療前・中・後のアセスメント、看護介入、評価</td> <td>伊藤</td> </tr> <tr> <td>9</td> <td>がん薬物療法を受ける患者の特徴と有害事象へのセルフケア支援および評価</td> <td>伊藤</td> </tr> <tr> <td>10</td> <td>がん患者と家族に対する意思決定支援</td> <td>千葉</td> </tr> <tr> <td>11</td> <td>がん患者に対する療養支援・療養の場の選択と退院支援 退院調整と社会資源、地域医療連携</td> <td>千葉</td> </tr> <tr> <td>12</td> <td>がん看護実践における倫理的課題と医療者への教育的アプローチ</td> <td>千葉</td> </tr> <tr> <td>13-14</td> <td>がんサバイバーの特徴とアセスメント、がんサバイバーシップに基づく看護介入</td> <td>岡本</td> </tr> <tr> <td>15</td> <td>がん看護専門看護師の役割および機能 ・専門看護師制度の目的、歴史的変遷 ・がんチーム医療におけるがん看護専門看護師の役割および機能</td> <td>黒田</td> </tr> </tbody> </table>				回	内容	担当教員	1-2	がん患者が抱えるトータルペインと包括的アセスメント	岡本	3	がん患者の家族の特徴とアセスメント、看護介入	岡本	4-5	がん手術療法を受ける患者の特徴と術前、術後のアセスメント、看護介入、評価	宮津	6	がん放射線療法を受ける患者の特徴と治療前・中・後のアセスメント、看護介入、評価	岡本	7	がん放射線療法を受ける患者の特徴と有害事象へのセルフケア支援および評価	岡本	8	がん薬物療法を受ける患者の特徴と治療前・中・後のアセスメント、看護介入、評価	伊藤	9	がん薬物療法を受ける患者の特徴と有害事象へのセルフケア支援および評価	伊藤	10	がん患者と家族に対する意思決定支援	千葉	11	がん患者に対する療養支援・療養の場の選択と退院支援 退院調整と社会資源、地域医療連携	千葉	12	がん看護実践における倫理的課題と医療者への教育的アプローチ	千葉	13-14	がんサバイバーの特徴とアセスメント、がんサバイバーシップに基づく看護介入	岡本	15	がん看護専門看護師の役割および機能 ・専門看護師制度の目的、歴史的変遷 ・がんチーム医療におけるがん看護専門看護師の役割および機能	黒田
回	内容	担当教員																																									
1-2	がん患者が抱えるトータルペインと包括的アセスメント	岡本																																									
3	がん患者の家族の特徴とアセスメント、看護介入	岡本																																									
4-5	がん手術療法を受ける患者の特徴と術前、術後のアセスメント、看護介入、評価	宮津																																									
6	がん放射線療法を受ける患者の特徴と治療前・中・後のアセスメント、看護介入、評価	岡本																																									
7	がん放射線療法を受ける患者の特徴と有害事象へのセルフケア支援および評価	岡本																																									
8	がん薬物療法を受ける患者の特徴と治療前・中・後のアセスメント、看護介入、評価	伊藤																																									
9	がん薬物療法を受ける患者の特徴と有害事象へのセルフケア支援および評価	伊藤																																									
10	がん患者と家族に対する意思決定支援	千葉																																									
11	がん患者に対する療養支援・療養の場の選択と退院支援 退院調整と社会資源、地域医療連携	千葉																																									
12	がん看護実践における倫理的課題と医療者への教育的アプローチ	千葉																																									
13-14	がんサバイバーの特徴とアセスメント、がんサバイバーシップに基づく看護介入	岡本																																									
15	がん看護専門看護師の役割および機能 ・専門看護師制度の目的、歴史的変遷 ・がんチーム医療におけるがん看護専門看護師の役割および機能	黒田																																									
教科書	なし																																										
参考書	大西和子他編集：がん看護学—臨床に活かすがん看護の基礎と実践、ヌーヴェルヒロカワ、2018.																																										
評価方法・基準	授業への参加状況(20%)、作成資料(40%)、プレゼンテーション(40%)を総合して評価する。																																										
事前・事後学習	<p>事前学習：授業概要を参考に、それぞれの課題に対して文献および研究論文による学習を行い、資料を作成し、発表・討議に臨む。</p> <p>事後学習：学習内容のがん看護実践への適用について検討する。</p>																																										
備考	宮津の講義は遠隔で実施する。																																										